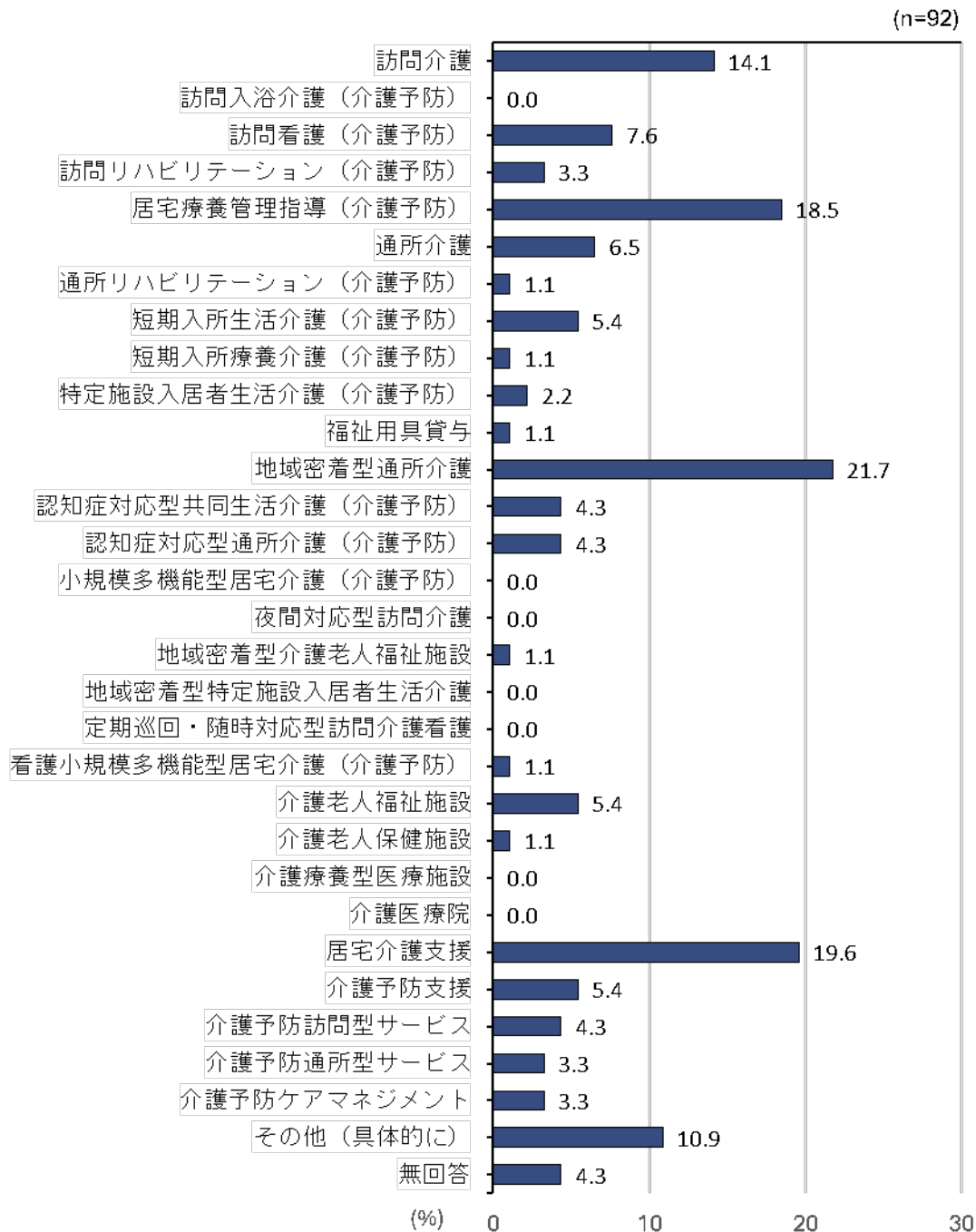


第6章 サービス提供事業者調査

1. 貴事業者の概要について

貴事業者が現在、本市で実施しているサービスは何ですか。(○はいくつでも)

「地域密着型通所介護」が21.7%で最も高く、次いで「居宅介護支援」が19.6%となっている。その他、「居宅療養管理指導(介護予防)」(18.5%)、「訪問介護」(14.1%)が比較的高くなっている。



2. 介護保険サービスについて

次の①から③までのサービスのうち、貴事業者において提供しているサービスについて、(1)から(3)のそれぞれ当てはまるものに○をご記入ください。

(1)利用者からの利用申込みへの対応

「余裕はない」の割合が高いサービスとしては、「介護療養型医療施設」「介護予防ケアマネジメント」がいずれも100.0%で最も高く、次いで「介護予防支援」「介護予防訪問型サービス」がいずれも85.7%となっている。「余裕はややある」が高いサービスとしては、「地域密着型通所介護」が65.2%で最も高く、次いで「居宅療養管理指導(介護予防)」が63.6%、「通所介護」が60.0%となっている。「余裕は十分ある」の割合が高いサービスとしては、「訪問看護(介護予防)」が55.6%で最も高く、次いで「福祉用具貸与」が50.0%、「認知症対応型通所介護(介護予防)」が42.9%となっている。

上段:回答数 下段:割合	総回答数	余裕はない	余裕はややある	余裕は十分ある
①訪問介護	15	10 66.7%	3 20.0%	2 13.3%
②訪問入浴介護(介護予防)	3	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
③訪問看護(介護予防)	9	2 22.2%	2 22.2%	5 55.6%
④訪問リハビリテーション(介護予防)	6	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%
⑤居宅療養管理指導(介護予防)	22	5 22.7%	14 63.6%	3 13.6%
⑥通所介護	10	2 20.0%	6 60.0%	2 20.0%
⑦通所リハビリテーション(介護予防)	5	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%
⑧短期入所生活介護(介護予防)	8	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%
⑨短期入所療養介護(介護予防)	4	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)	5	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
⑪福祉用具貸与	4	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%
⑫地域密着型通所介護	23	5 21.7%	15 65.2%	3 13.0%
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)	7	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)	7	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
⑯夜間対応型訪問介護	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
⑰地域密着型介護老人福祉施設	4	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	4	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%
㉑介護老人福祉施設	8	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%
㉒介護老人保健施設	4	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%
㉓介護療養型医療施設	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
㉔介護医療院	4	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
㉕居宅介護支援	21	11 52.4%	9 42.9%	1 4.8%
㉖介護予防支援	7	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%
㉗介護予防訪問型サービス	7	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%
㉘介護予防通所型サービス	10	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%
㉙介護予防ケアマネジメント	7	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
㉚その他(具体的に)	8	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%

(2)事業者の収支状況

「赤字である」の割合が比較的高いサービスとしては、「地域密着型通所介護」が50.0%、「介護予防ケアマネジメント」が50.0%、「訪問看護(介護予防)」「介護予防通所型サービス」が37.5%となっている。「収支はほぼ均衡」の割合が高いサービスとしては、「訪問リハビリテーション(介護予防)」が80.0%、「通所介護」が77.8%、「居宅療養管理指導(介護予防)」が55.0%となっている。「黒字である」の割合が比較的高いサービスとしては、「特定施設入居者生活介護(介護予防)」が50.0%、「介護予防訪問型サービス」が40.0%、「認知症対応型共同生活介護(介護予防)」が33.3%となっている。

上段:回答数 下段:割合	総回答数	赤字である	収支はほぼ均衡	黒字である
①訪問介護	14	4 28.6%	6 42.9%	4 28.6%
②訪問入浴介護(介護予防)	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
③訪問看護(介護予防)	8	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%
④訪問リハビリテーション(介護予防)	5	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%
⑤居宅療養管理指導(介護予防)	20	5 25.0%	11 55.0%	4 20.0%
⑥通所介護	9	1 11.1%	7 77.8%	1 11.1%
⑦通所リハビリテーション(介護予防)	4	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%
⑧短期入所生活介護(介護予防)	7	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%
⑨短期入所療養介護(介護予防)	3	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)	4	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
⑪福祉用具貸与	3	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
⑫地域密着型通所介護	22	11 50.0%	6 27.3%	5 22.7%
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)	6	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)	6	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
⑯夜間対応型訪問介護	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
⑰地域密着型介護老人福祉施設	3	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	3	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
㉑介護老人福祉施設	7	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%
㉒介護老人保健施設	3	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
㉓介護療養型医療施設	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
㉔介護医療院	3	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
㉕居宅介護支援	20	7 35.0%	10 50.0%	3 15.0%
㉖介護予防支援	6	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%
㉘介護予防訪問型サービス	5	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%
㉙介護予防通所型サービス	8	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%
㉚介護予防ケアマネジメント	6	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%
㉛その他(具体的に)	8	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%

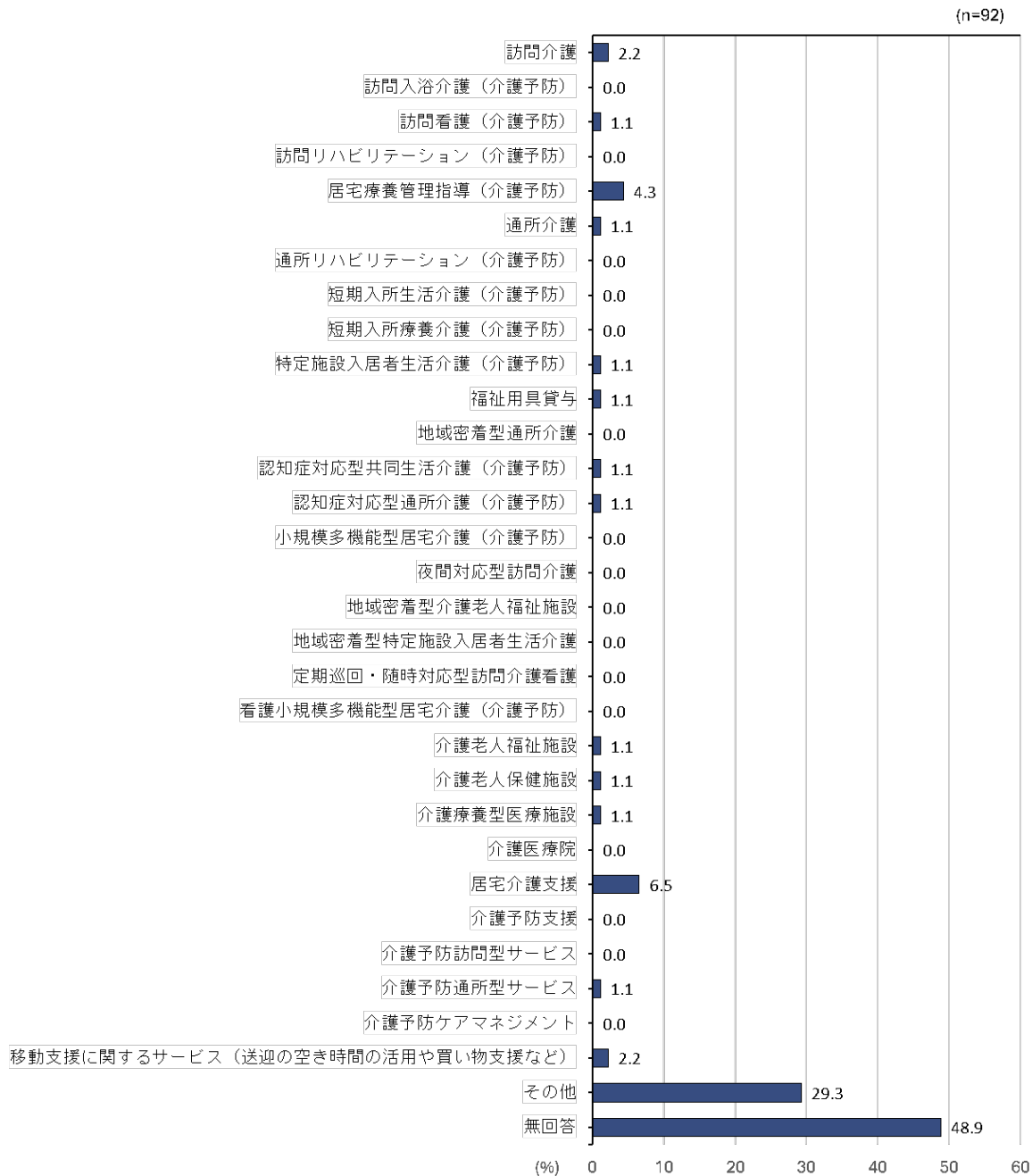
(3)今後の事業展開

「縮小を考えている」がみられるサービスとしては、「介護予防支援」が16.7%、「介護予防ケアマネジメント」が16.7%となっている。「現状のまま」が高いサービスとしては、「介護予防通所型サービス」が62.5%、「訪問介護」が50.0%、「居宅介護支援」が50.0%となっている。「拡大を考えている」が比較的高いサービスとしては、「訪問看護(介護予防)」が50.0%、「通所介護」が44.4%、「特定施設入居者生活介護(介護予防)」が40.0%となっている。

上段:回答数 下段:割合	総回答数	現時点ではわからない	縮小を考えている	現状のまま	拡大を考えている
①訪問介護	14	2 14.3%	2 14.3%	7 50.0%	3 21.4%
②訪問入浴介護(介護予防)	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③訪問看護(介護予防)	8	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	4 50.0%
④訪問リハビリテーション(介護予防)	5	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
⑤居宅療養管理指導(介護予防)	19	6 31.6%	2 10.5%	10 52.6%	1 5.3%
⑥通所介護	9	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	4 44.4%
⑦通所リハビリテーション(介護予防)	4	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
⑧短期入所生活介護(介護予防)	7	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%
⑨短期入所療養介護(介護予防)	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)	5	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%
⑪福祉用具貸与	3	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
⑫地域密着型通所介護	22	9 40.9%	0 0.0%	9 40.9%	4 18.2%
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)	6	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)	6	3 50.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑯夜間対応型訪問介護	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑰地域密着型介護老人福祉施設	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
㉑介護老人福祉施設	7	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%
㉒介護老人保健施設	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
㉓介護療養型医療施設	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
㉔介護医療院	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
㉕居宅介護支援	20	6 30.0%	1 5.0%	10 50.0%	3 15.0%
㉖介護予防支援	6	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
㉗介護予防訪問型サービス	5	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
㉘介護予防通所型サービス	8	3 37.5%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%
㉙介護予防ケアマネジメント	6	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
㊱その他(具体的に)	7	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%

貴事業者が今後、新たに実施したいサービスは何ですか。(○はいくつでも)

「居宅介護支援」が6.5%で最も高く、次いで「居宅療養管理指導(介護予防)」が4.3%となっている。

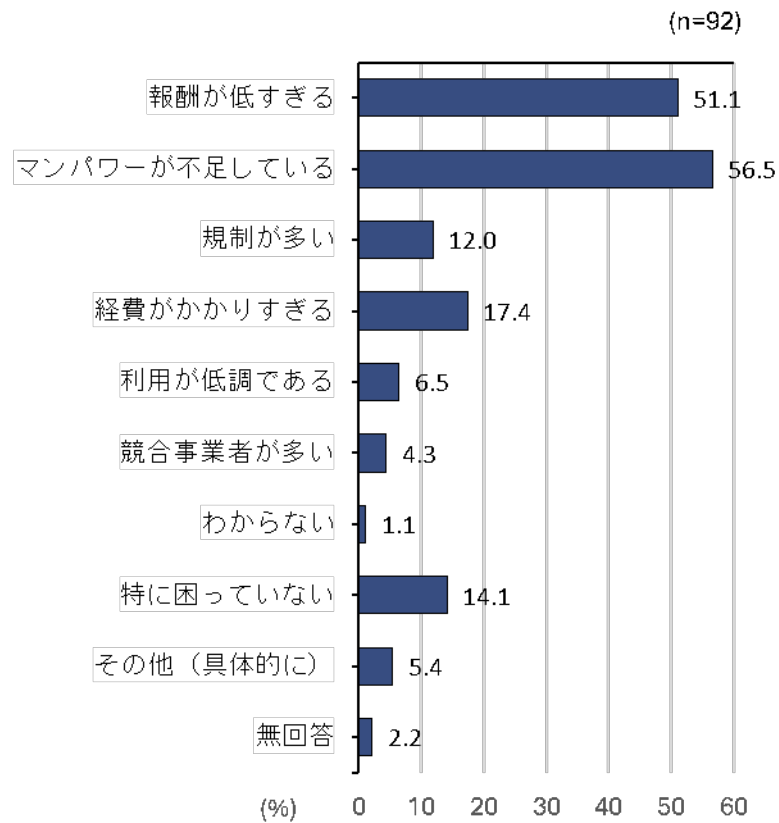


上記を選択した理由をお教えてください。

新たに実施したいサービス	理由
訪問介護	デイサービスは人手がなかなか集まらない
訪問看護(介護予防)	習志野市の福祉・医療サービスを発展・充実させたいから。
居宅療養管理指導(介護予防)	・それ以上はできない ・継続 ・歯科を通じてフレイル予防に貢献する為
通所介護	ニーズはあると考えているため
福祉用具貸与	ご利用者様の状態は、よく把握しているため、都度どのような福祉用具が必要あるか、サポートできるため。
認知症対応型共同生活介護(介護予防)	グループホーム中心に全国展開している為
介護老人福祉施設	歯科を通じて、フレイル予防に貢献する為
介護老人保健施設	歯科を通じて、フレイル予防に貢献する為
介護療養型医療施設	歯科を通じて、フレイル予防に貢献する為
居宅介護支援	・ケアマネの人数を増やしたい ・居宅介護支援事業所として入退職(入替)が激しい現状がある。人間的に現状維持が精いっぱいであり、いかに現状の規模を維持できるかが課題となっている。 ・現在休止中だから ・歯科を通じて、フレイル予防に貢献する為
介護予防通所型サービス	地域高齢者の自立支援と要介護化予防を図るため
移動支援に関するサービス(送迎の空き時間の活用や買い物支援など)	実際に通所施設に通われている方で、非常に困っているケースを目の当たりにしたから。
その他	・リハビリ、訪問看護の看護師、居宅介護支援のケアマネ人材不足により拡大していくのは現状難しい。常に募集は出し続けている ・金銭的、人材的にも新しい物を行う余裕が無いから。 ・現状として今後新たに展開する事業の予定ない。 ・今のまま地域に貢献したい。 ・市との契約で行っている業務だから ・時間と人手の不足 ・自立の入居者がおらずほぼ全員が要介護・要支援認定を受けているため。 ・食事面のサポートが難しい為、サービスと連動して配食も出来ると良いと考えている為。 ・人的余裕が無い ・調剤薬局ができることには限りがあるため ・不明なため ・報酬が低く経営が難しい ・本部の事業展開に則して対応いたします。 ・余裕がない

貴事業者がサービスを提供する上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

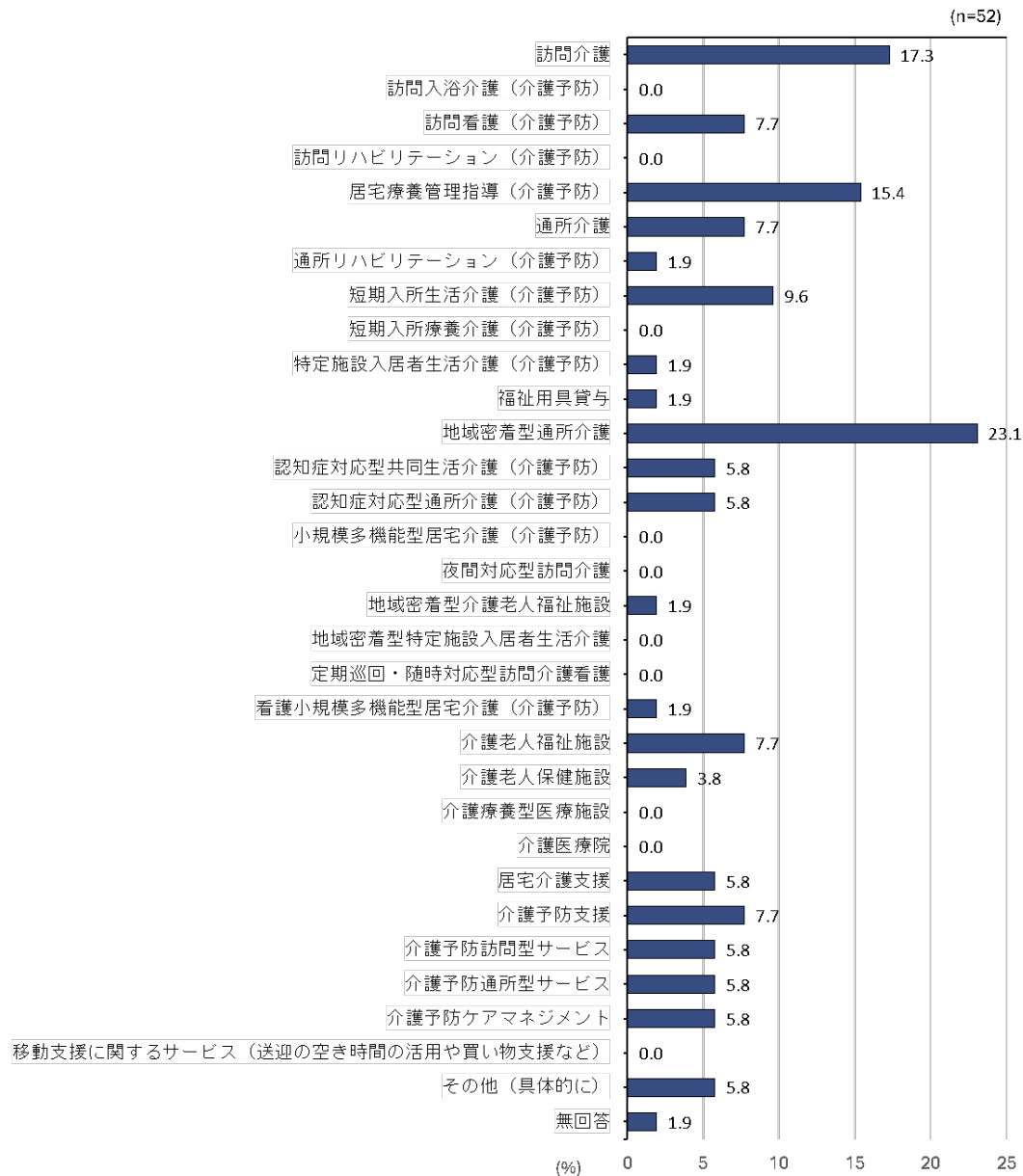
「マンパワーが不足している」が56.5%で最も高く、次いで「報酬が低すぎる」が51.1%となっている。その他、「経費がかかりすぎる」(17.4%)、「特に困っていない」(14.1%)が比較的高くなっている。



「マンパワーが不足している」を選択された方)不足しているのはどのサービスですか。また、どの職種ですか。(〇はいくつでも)

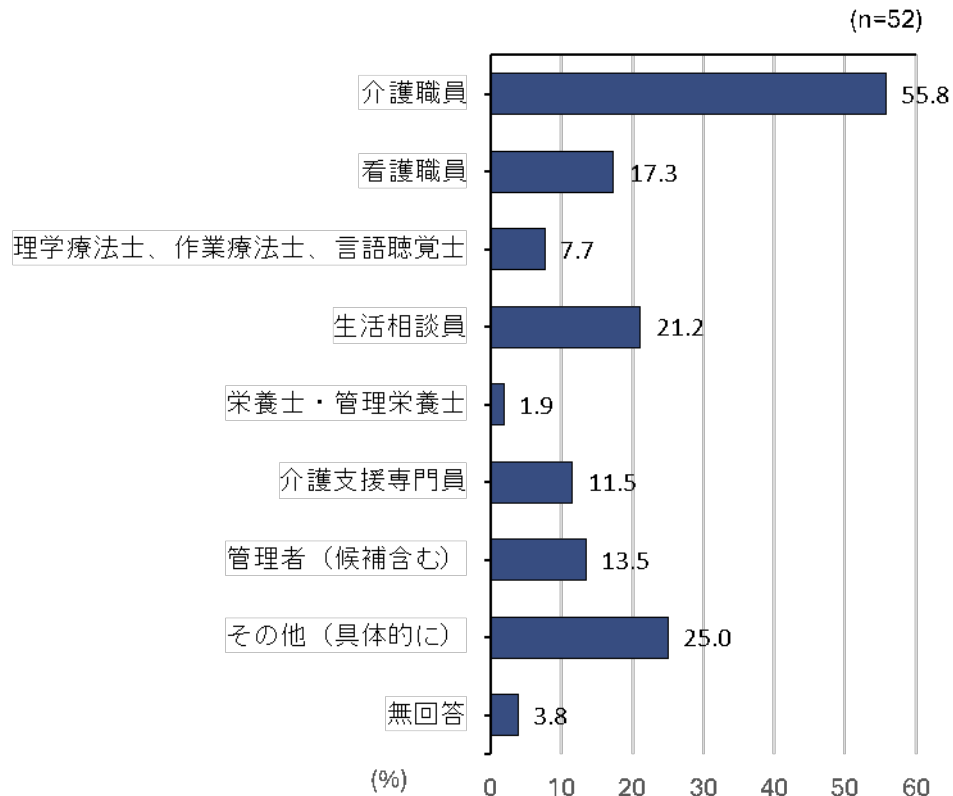
①マンパワーが不足しているサービス

「地域密着型通所介護」が23.1%で最も高く、次いで「訪問介護」が17.3%となっている。その他、「居宅療養管理指導(介護予防)」(15.4%)が比較的高くなっている。



②マンパワーが不足している職種

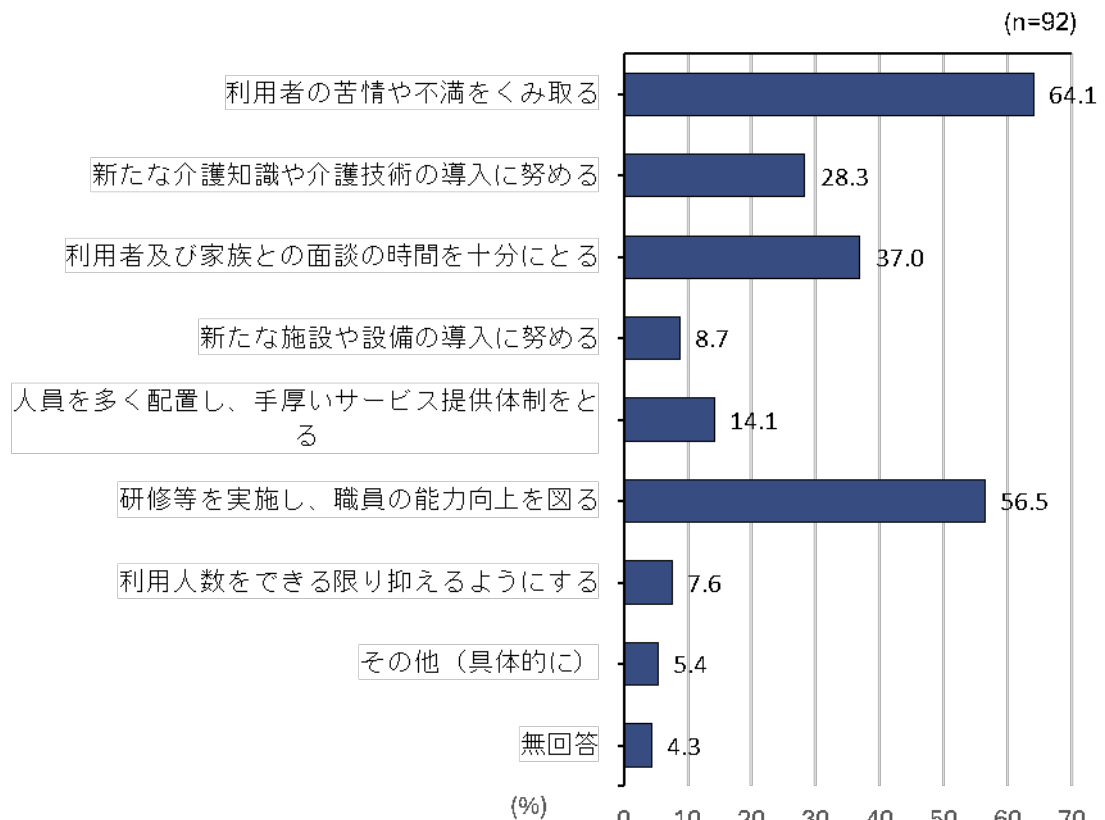
「介護職員」が55.8%で最も高く、次いで「生活相談員」が21.2%となっている。その他、「看護職員」(17.3%)が比較的高くなっている。



3. サービスの質の向上について

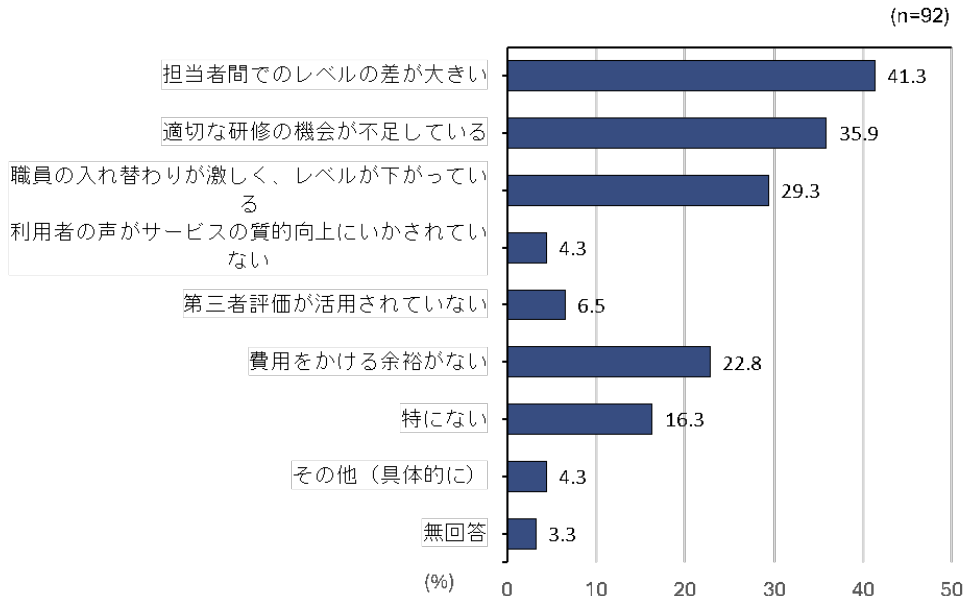
サービスの質を高めるために貴事業者が行っていることはどんなことですか。(○はいくつでも)

「利用者の苦情や不満をくみ取る」が64.1%で最も高く、次いで「研修等を実施し、職員の能力向上を図る」が56.5%となっている。その他、「利用者及び家族との面談の時間を十分にとる」(37.0%)が比較的高くなっている。



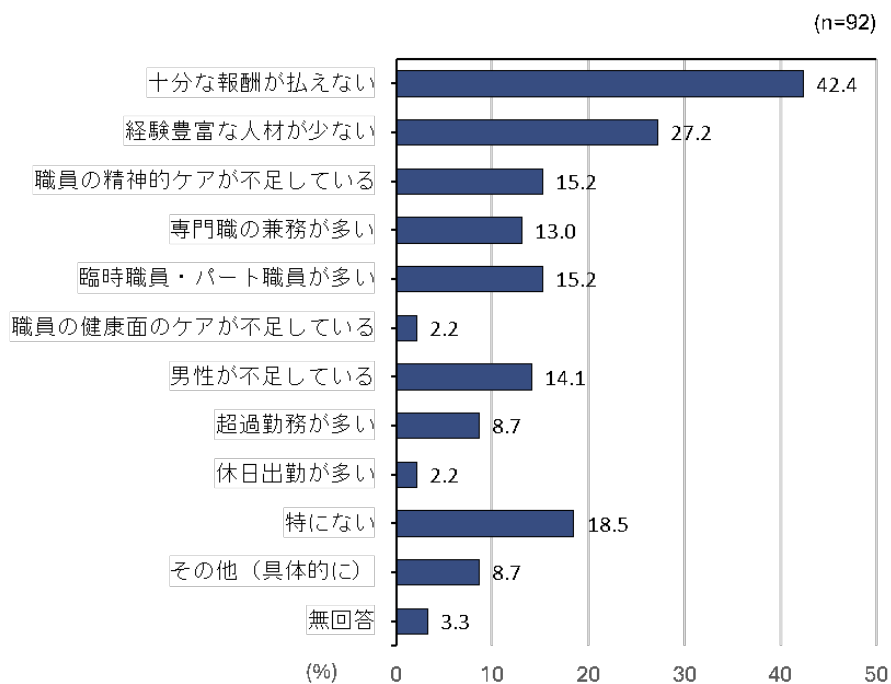
介護知識や介護技術などをレベルアップし、サービスの質的向上を図るうえでの課題は何だと思いますか。(○はいくつでも)

「担当者間でのレベルの差が大きい」が41.3%で最も高く、次いで「適切な研修の機会が不足している」が35.9%となっている。その他、「職員の入れ替わりが激しく、レベルが下がっている」(29.3%)が比較的高くなっている。



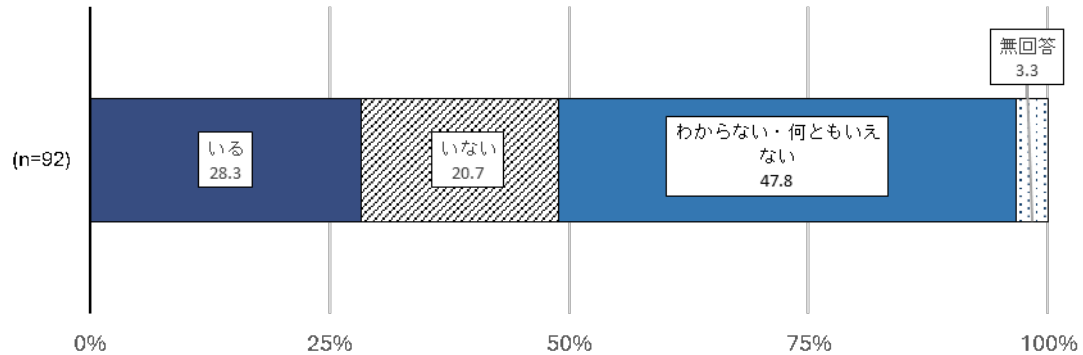
事業者における職員の雇用・勤務面での課題は何ですか。(○はいくつでも)

「十分な報酬が払えない」が42.4%で最も高く、次いで「経験豊富な人材が少ない」が27.2%となっている。その他、「特にない」(18.5%)が比較的高くなっている。



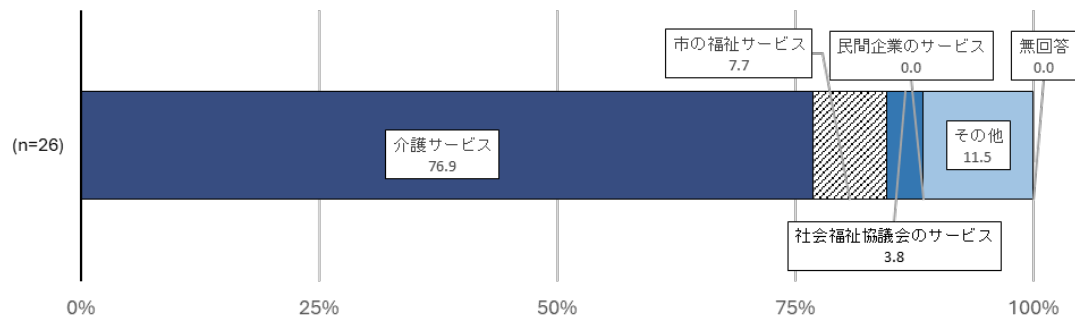
貴事業者がサービスを提供したり利用者から声を聞く中で、支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない高齢者はいますか。

「わからない・何ともいえない」が47.8%で最も高く、次いで「いる」が28.3%となっている。



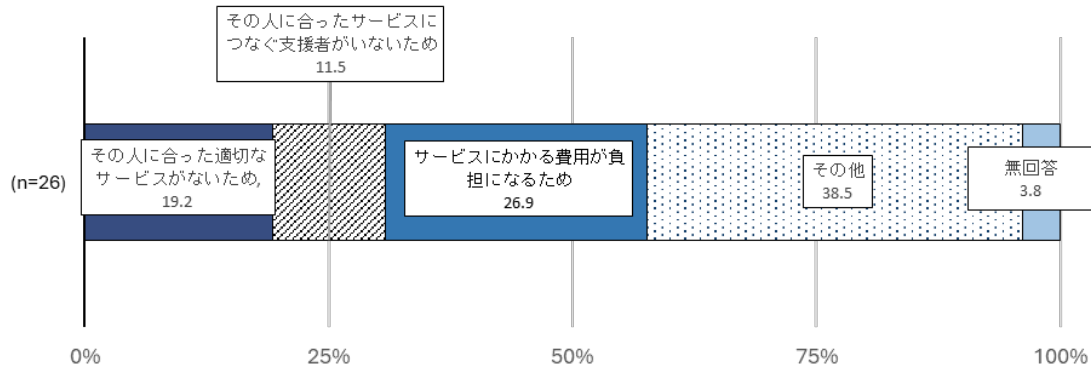
(「いる」を選択された方)結びついていないサービスは次のうちどれですか。

「介護サービス」が76.9%で最も高く、次いで「市の福祉サービス」が7.7%となっている。



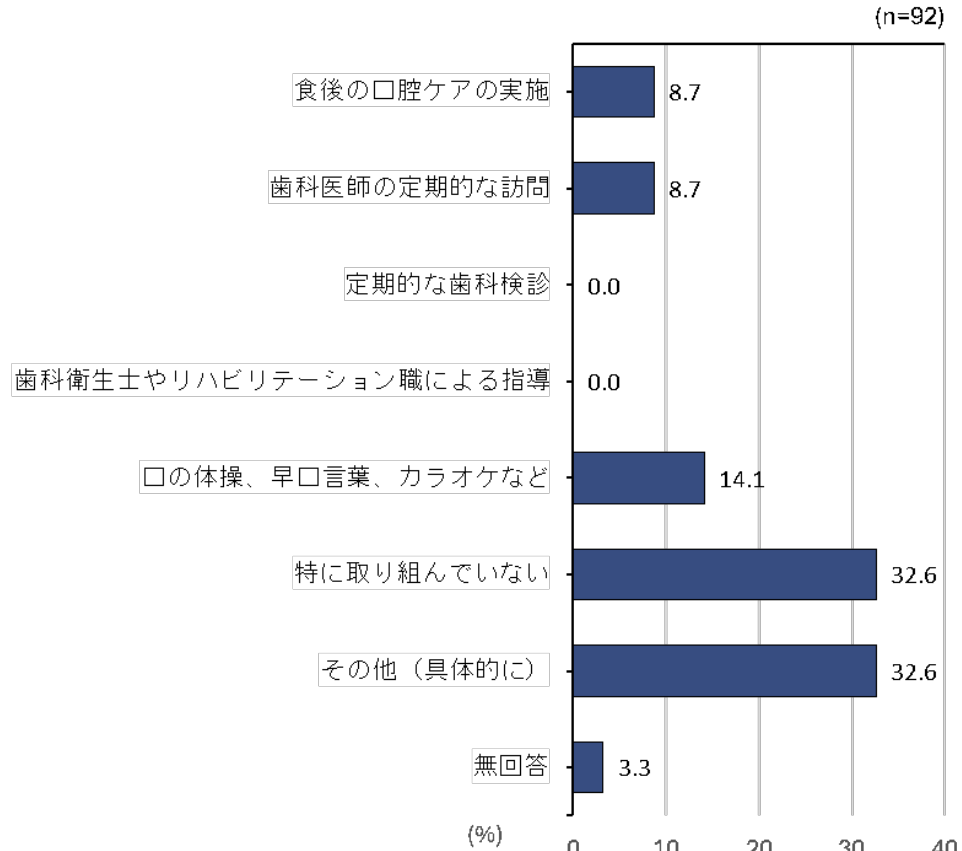
（「いる」を選択された方）結びついていない理由は次のうちどれですか。

「サービスにかかる費用が負担になるため」が 26.9%と最も高く、次いで「その人に合った適切なサービスがないため」が 19.2%となっている。



貴事業者は、歯や口腔の健康づくりについて、どのようなことに取り組んでいますか。

「特に取り組んでいない」が 32.6%で最も高く、次いで「口の体操、早口言葉、カラオケなど」が 14.1%となっている。



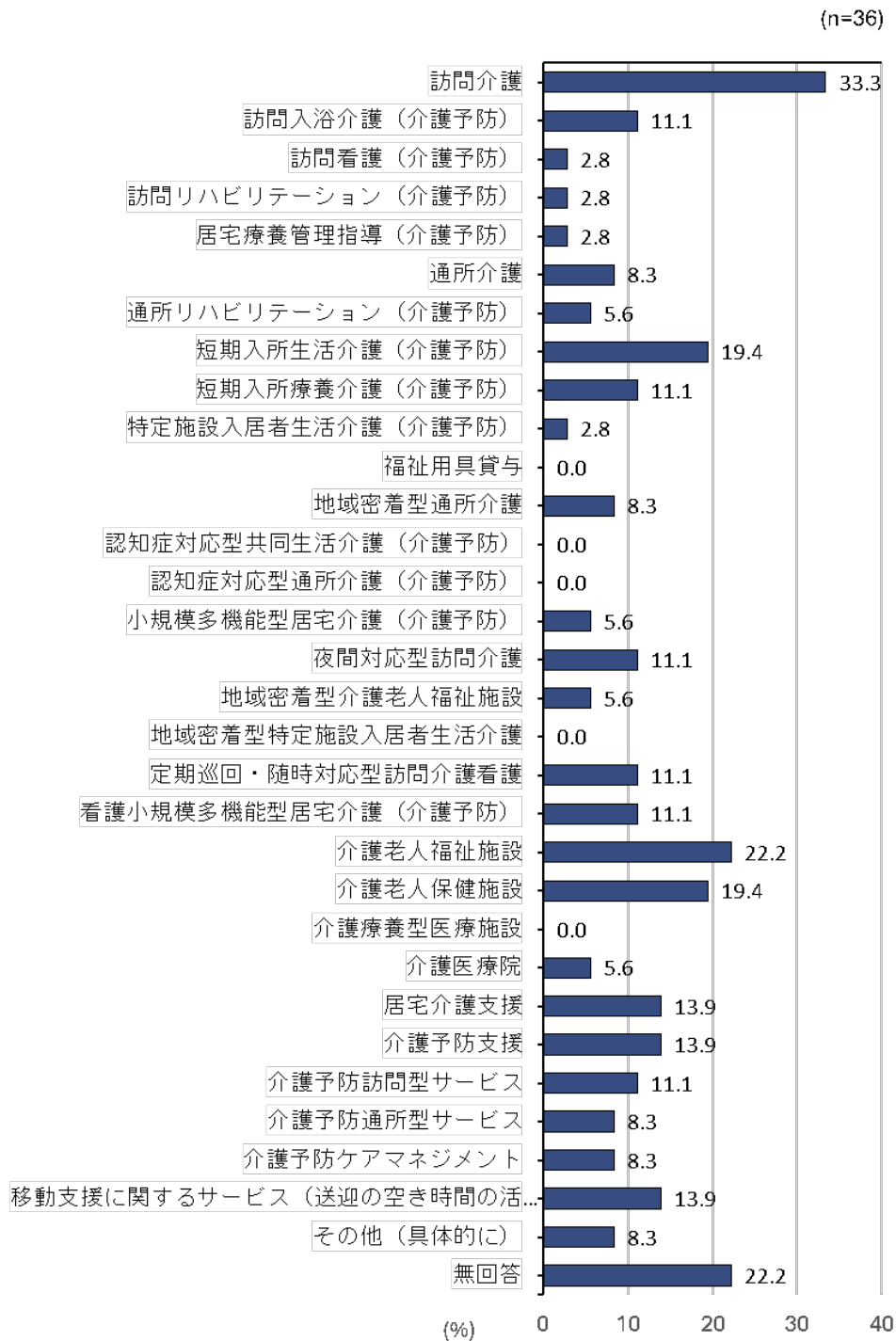
貴事業者では、利用者からどのような声をよく聞きますか。

- 運動の必要性や、自宅でできる運動等。
- 感謝の言葉が多い。
- 独居の方は非常に多く、通所サービス・訪問介護等のサービスを受けていても、生活自体は成り立っているが、心のケア(さみしさ、充実感の欠如)はなかなか埋まらない。近親者もなかなか来れない状況の方が多くいる。
- 事業所単位では聞いたことがない
- 最近の利用者家族もテレビでのニュースで情報を得ていることもあり、ケアマネジャーに対する「シャドーワーク」の問題が認識され始めていると感じる。ケアマネジャーのシャドーワーク問題が認知されるようになれば、医療機関や介護サービス事業所も含めて、雑用的なことをケアマネジャーに依頼してくることも少なくなってくるのではないかと。
- 感謝の言葉を多くいただきますが、サービスとしてまだまだいろいろできるため、薬局ができるサービスをもっと周知したいです。≡患者様が薬局がどういうサービスができるか理解していない
- 感謝の言葉をいただいている。「こんなにやってもらって(サービス)ありがとうございます。」
- 一人暮らしだからデイサービスでみんなとお話できるのが嬉しい。
- 一人暮らしで昼食、夕食を食べて帰ることができて安心。
- 利用者は認知症が進行して意思疎通が困難な方が多い。施設入居者の家族に訪問歯科診療の希望を確認してから行っている
- 楽しい
- 庭の手入れ、ペットの世話、窓掃除
- 訪問看護なのに、ここまでしてくれて助かると言ったお声を頂いております。
- サービスの空きがない
- タクシー券が欲しい。何かあった時、すぐに入れる施設はないか、美味しい配食サービスはないか。
- ”リハビリをもっとやりたいという声はよく聞く。リハビリのセラピストの介入はもちろん、介護職もフロアリハビリを実施。それでも足りない部分があるが、レクの実施や日中の過ごし方の工夫により改善していきたい。
- 助かります。ありがとう。

4. ケアマネジメントについて(該当事業者のみ)

現在不足していると感じるサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

「訪問介護」が33.3%で最も高く、次いで「介護老人福祉施設」が22.2%となっている。その他、「短期入所生活介護(介護予防)」(19.4%)、「介護老人保健施設」(19.4%)が比較的高くなっている。

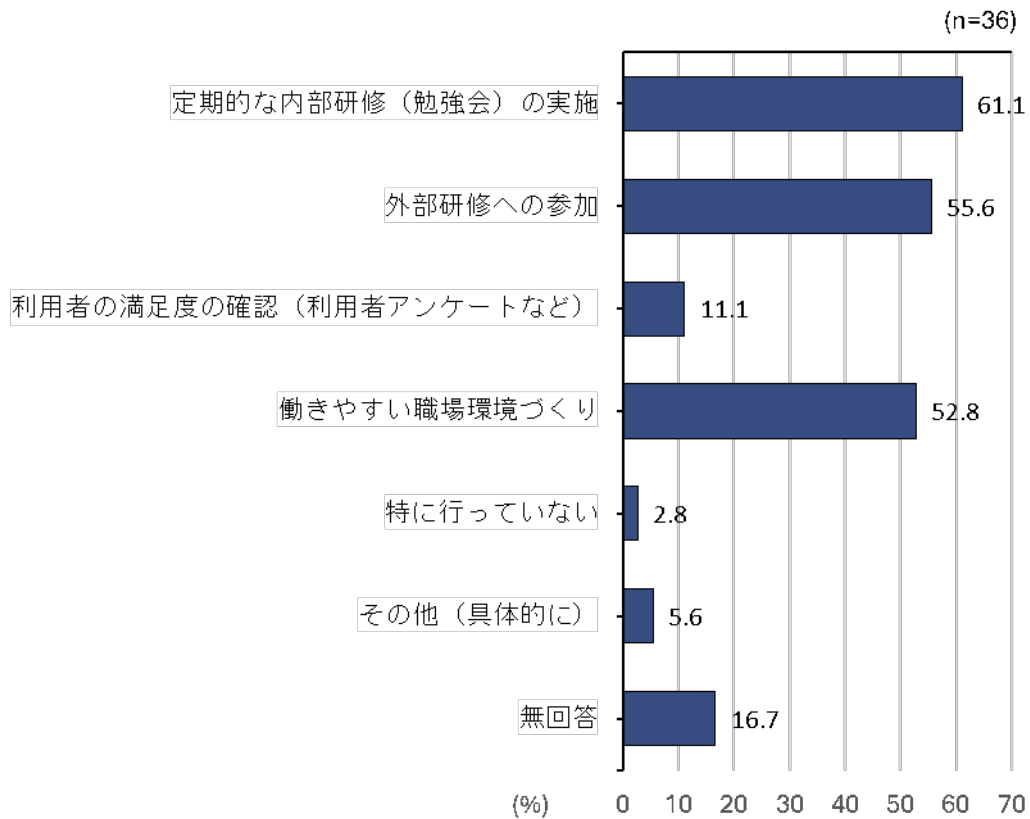


不足と感じている理由は何ですか。

- 受入を断られる。
- ショートステイ、ロングショートステイの空きがない。
- 介護老人福祉施設の空きが出ないためなかなか入所できない。
- 訪問入浴の事業所が市内に 3 事業所のみ。
- 働き方改革もあり、土日や時間帯によってヘルパーが不足。ヘルパーの高齢化や成り手不足もあり、依頼しても断られるケースが増えている。
- 通所リハ・市内通所リハが2か所しかなく選択肢が少ない。
- 夜間対応が大変で、在宅での生活を希望している人が疲れている。
- PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)がいない。OT、ST の充実で在宅生活が続けられることも多い。
- 予防の方を受けてもらえないので依頼しても待つことがある。
- 受け入れがない事業所があり、決まるまで利用者は待たされる。
- 病院受診の同行サービス(送迎付き)が必要。高齢、認知症、独居で家族も仕事で多忙だと受診すること自体困難になりがち。通院できず、薬もないまま状態が悪化する恐れがある。
- 認知症で医師の話や薬のことを覚えていられない方は、同行者が必要だが、家族が対応できない場合、ケアマネが同行することがある(数時間かかるが、無報酬)。
- 介護予防訪問型サービスでは他市の事業所が習志野市へ登録(申請)をしていないと依頼できないため、選択肢が少なくなってしまう。予防の報酬が少なく、支援を受けない事業所が増えたから。
- 買い物支援などの場合、近くにスーパー等がなく、少し離れると時間に制限があるため、ヘルパー不足により行けない。
- 介護度にあった回数での利用ができない(要支 2 で週 2 回使えるはずでも、空きがない)
- 有料老人ホームは値段が高い。
- ケアマネ自体の応募がない。介護老人保健施設のケアマネはいるが、年齢層も高くなってきており、将来的に不安である。居宅は現在 3 名、最低でも 4 名体制にし、地域のニーズに応えられる体制を作りたい。

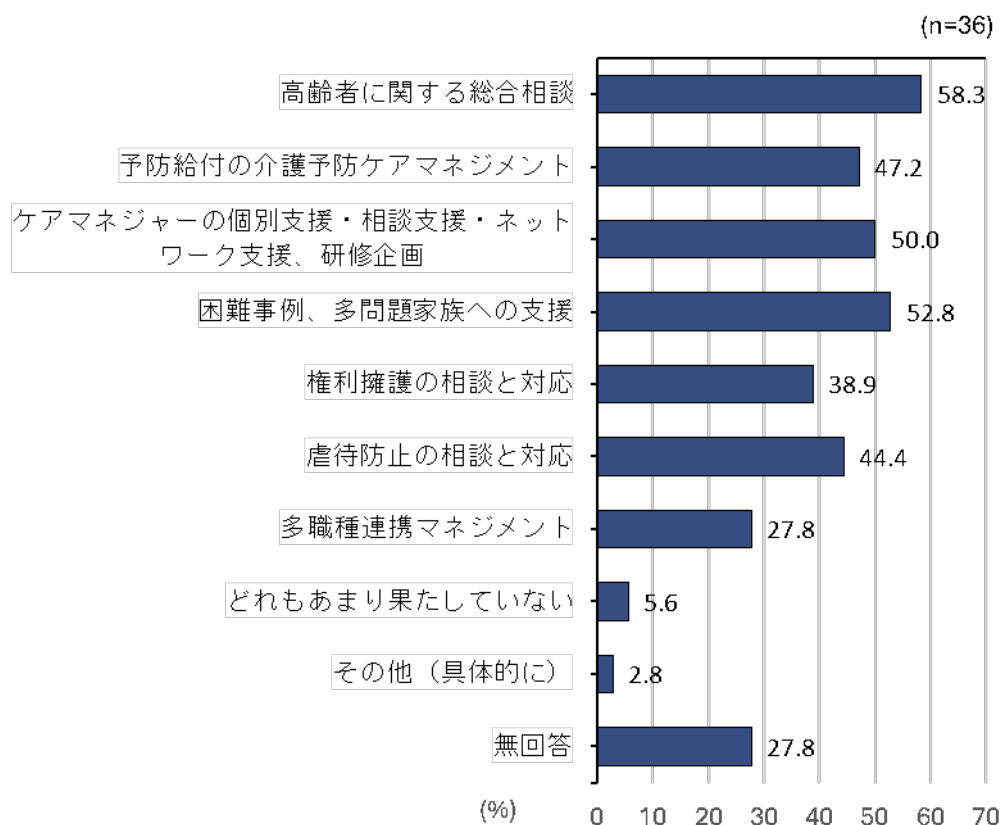
ケアマネジャーの質を高めるために行っていることは、どんなことですか。(〇はいくつでも)

「定期的な内部研修(勉強会)の実施」が61.1%で最も高く、次いで「外部研修への参加」が55.6%となっている。その他、「働きやすい職場環境づくり」(52.8%)が比較的高くなっている。



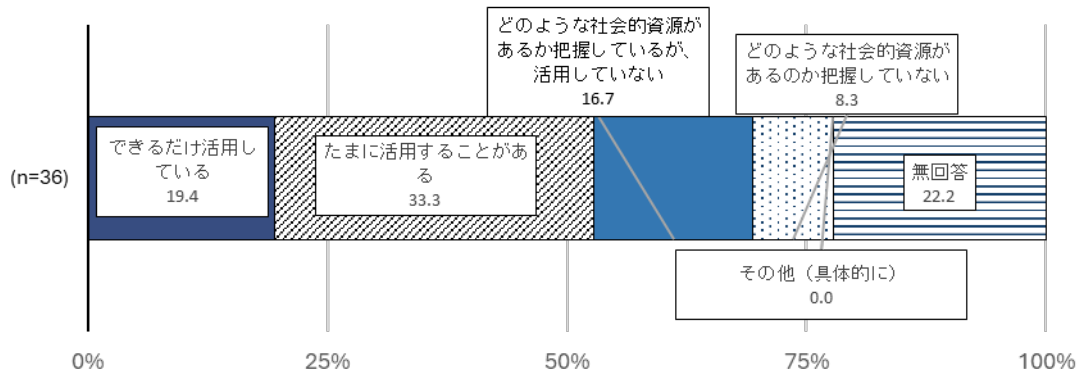
高齢者相談センター(地域包括支援センター)は、次のような役割を担っております。役割を果たしていると考えるものを選んでください。(〇はいくつでも)

「高齢者に関する総合相談」が58.3%で最も高く、次いで「困難事例、多問題家族への支援」が52.8%となっている。その他、「ケアマネジャーの個別支援・相談支援・ネットワーク支援、研修企画」(50.0%)、「予防給付の介護予防ケアマネジメント」(47.2%)、「虐待防止の相談と対応」(44.4%)が比較的高くなっている。



ケアプランを作成する際に、インフォーマルなサービスを活用して立っていますか。

「たまに活用することがある」が33.3%で最も高く、次いで「できるだけ活用している」が19.4%となっている。

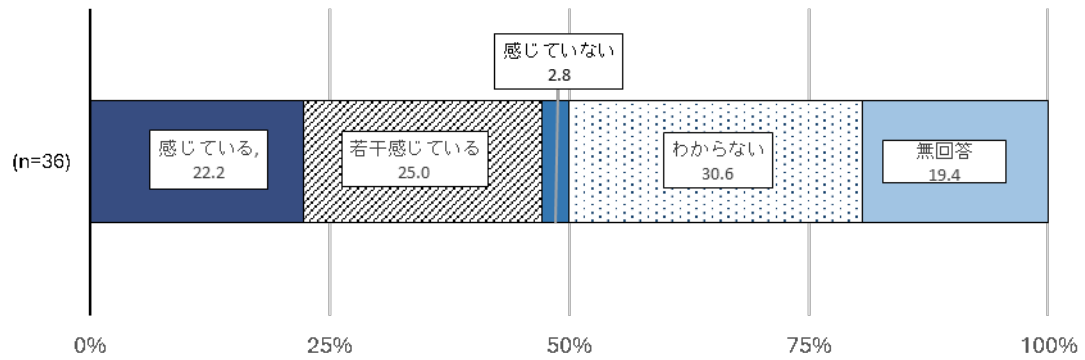


(「できるだけ活用」または「たまに活用」を選択された方)活用した／しているのはどのようなインフォーマルサービスですか。

- ☐ ワンコインサービスや傾聴ボランティアなど
- ☐ 日常生活自立支援事業、社協の外出支援(無料)
- ☐ 訪問理容
- ☐ 介護保険外の福祉要員、訪問介護
- ☐ 高齢者の集いの場
- ☐ 高齢者の体操
- ☐ ゴミ収集事業
- ☐ オムツ給付
- ☐ 介護タクシー
- ☐ 地域の見守り(配食サービス、新聞配達 etc.)、安否確認
- ☐ 家族、社会資源
- ☐ 近隣住民との協働
- ☐ 戸口収集、保険外のマッサージ
- ☐ 訪問マッサージ等
- ☐ 知人、友人、民生委員・地域の体操教室
- ☐ 緊急通報装置 福祉電話
- ☐ 自費ヘルパー、病院受診の送迎

他事業所のケアマネジャーについて、ケアマネジャーの対応に差があると感じていますか。

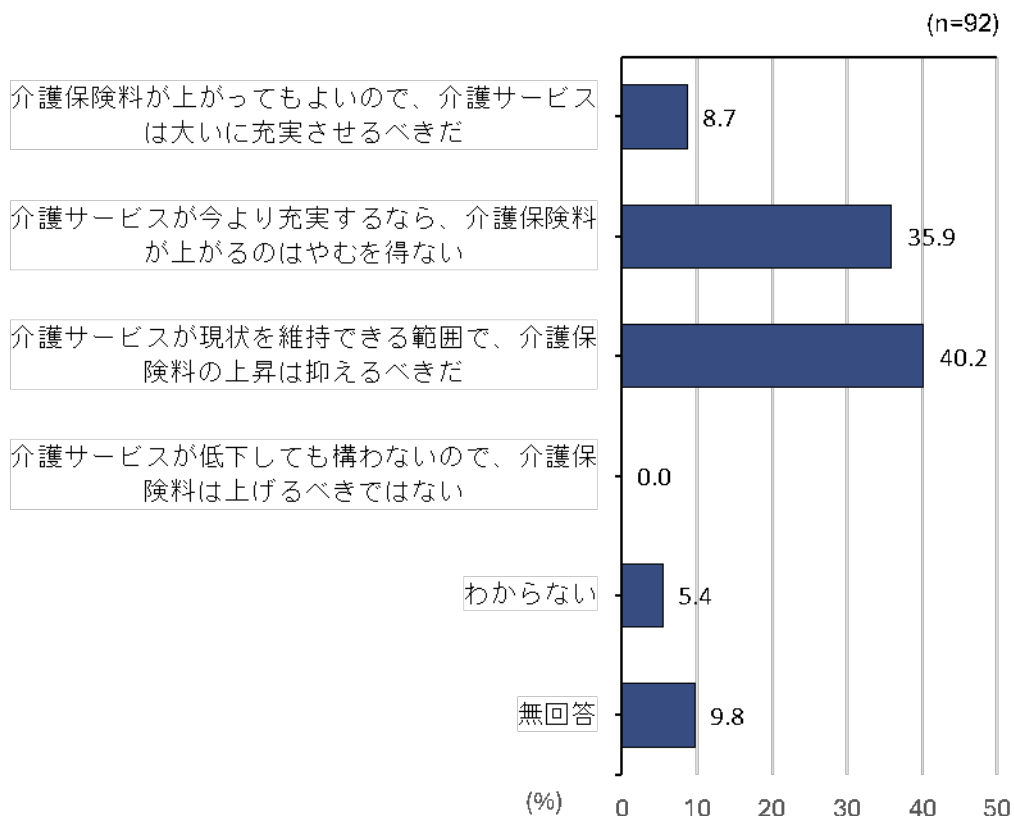
「わからない」が 30.6%で最も高く、次いで「若干感じている」が 25.0%となっている。



5. 今後の高齢者介護について

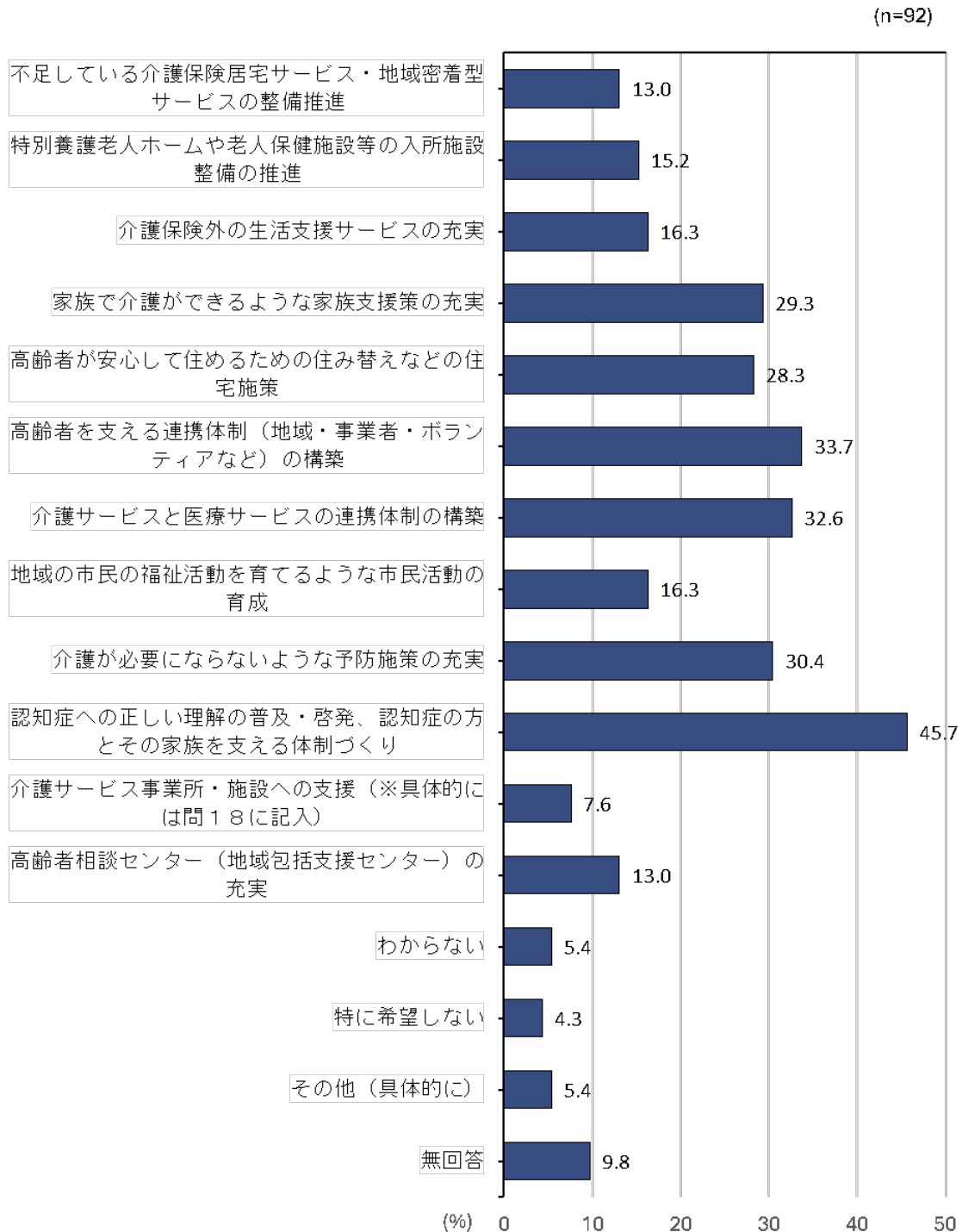
介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりかなり高額になることが予測されます。介護サービスの維持・充実と介護保険料のバランスについて、どう考えますか。

「介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が40.2%で最も高く、次いで「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が35.9%となっている。



高齢者への介護サービスの充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(○はいくつでも)

「認知症への正しい理解の普及・啓発、認知症の方とその家族を支える体制づくり」が45.7%で最も高く、次いで「高齢者を支える連携体制(地域・事業者・ボランティアなど)の構築」が33.7%となっている。その他、「介護サービスと医療サービスの連携体制の構築」(32.6%)、「介護が必要にならないような予防施策の充実」(30.4%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(29.3%)、「高齢者が安心して住めるための住み替えなどの住宅施策」(28.3%)が比較的高くなっている。



6. ご意見・ご要望

貴事業者は、自治体にどのような支援をしてほしいですか。

①人材・人手不足

- ・ 人手不足の解消のため、給与が安定するとよく、医療と同様に必要な分野として介護への関心を高める必要がある。
- ・ 給与は増えない一方で業務量が増加しており、介護職の負担が大きくなっている。
- ・ 離職率が高く、人間関係や事業所方針への不一致などが影響している。
- ・ 人材確保と育成により、質の高いサービス提供を維持・向上させる必要がある。
- ・ 介護予防や自立支援を進めるためには、職員の確保と定着が不可欠である。
- ・ 福祉体験の機会や資格取得支援、移住支援など人材確保につながる施策が必要である。
- ・ 人材不足や財源の状況から、現状の介護保険サービスの維持が難しいと感じる。

②介護保険制度について

- ・ 制度が将来にわたり継続できるよう、公平性や自立支援を重視した見直しが必要である。
- ・ 必要な人に必要なサービスを提供できる制度とし、利用者のニーズに応じた選択が可能となるようにする必要がある。
- ・ 要支援のまま介護度が変わらず、サービス量を増やせないケースがある。
- ・ 財源制約の中で制度運営が難しく、公正中立な支援のあり方が求められる。
- ・ 今後の制度改正が事業所経営に大きな影響を与えると考えられる。
- ・ 介護保険を利用しない人への保険料減額制度の検討が必要である。

③サービス提供体制

- ・ 事業所間の横の連携が取りづらく、連携を支援する仕組みが必要である。
- ・ 医療から介護への引き継ぎ時に、医療側の制度理解が不十分な場合がある。
- ・ サービス終了後の利用者の引継ぎやフォロー体制に課題がある。
- ・ 職場環境が良好であることが、利用者へのサービスにも影響すると考えられる。
- ・ 事業所の大規模化により人件費を確保し、マンパワーを維持して安定したサービス提供にかなげる必要がある。
- ・ サービスの維持が難しくなっており、過剰なサービスの見直しも必要である。
- ・ 医療依存度の高い利用者が増え、老健の運営が厳しくなっている。
- ・ 加算取得のための書類業務が多く、業務負担に見合っていない。
- ・ ケアマネジャーのシャドーワークが課題とされているが十分に解消されていない。

④利用者の経済的負担

- ・ 単位数の上限により自費負担が発生しているケースがある。
- ・ 利用者の生活費負担が増加しており、これ以上の自己負担増は困難な状況である。
- ・ 低所得者に対する通院介助などの支援が不足している。
- ・ 自治体による運営費や処遇改善の補助制度の導入が必要である。
- ・ 独居高齢者の増加を見据え、金銭管理や保証サービスを含めた支援が必要である。

⑤情報提供・理解促進

- ・ 介護サービスの利用方法や制度への理解が十分でない利用者がある。
- ・ 有償ボランティアの仕組みが理解しづらく、内容が分かりにくい。

⑥予防・自立支援

- ・ 介護度の維持・改善を進めることが介護費の増加抑制につながると考えられる。
- ・ 認知症は予防段階での介入が重要であり、早期対応が必要である。